

郷土の歴史から 地域の輪が広がった



日吉郷土史会（幸区日吉地区）

次の世代に伝えたい

幸区日吉地区とは、加瀬山を取り囲む北加瀬・南加瀬・小倉・鹿島田のことをいい、この一帯は、市立夢見ヶ崎動物公園のある加瀬山、古墳時代初期に築造された前方後円墳の白山古墳、国宝1号となった秋草文壺などを出土した歴史的にも重要な地域です。

平成14年、幸市民館が主催した日吉地区の歴史講座が終わると同時に、熱心なメンバーを中心に『日吉郷土史会』が発足しました。会員数は日吉地区のシニア層を中心に55名ほど。会長の仁藤悦男（にとうえつお）さんはこの土地の生まれで、この地区の消えつつある屋号を独自に調べ、まとめた

地図の作成者でもあります。

定例会は毎月第3金曜日の夜、日吉分館で。2年目となる日吉分館市民自主学級『続・私たちのふるさとを語ろう知ろう』の運営も、準備から資料づくりまでメンバーが得意分野で力を発揮し、和気あいあいと進めています。取材に伺った日は、「第8回 操車場の歴史」がテーマ。二代にわたる鉄道マンのメンバーが講師となり、幸区の中央に横たわる新鶴見操車場跡地の歴史をひもときました。講師の興味深い話の後は、質問や意見交換などが大変活発におこなわれ、伝えたい郷土の歴史がよりいっそう鮮明に浮き上がってきました。

教えることは学ぶこと

今年から新たな挑戦も始まりました。学校教育と市民館の生涯学習が協働して、教えあい学びあう取り組みとして、市立日吉中学校2年生に郷土の歴史を伝えるというものです。入念な打ち合わせのうえで、興味のあるテーマに別れてグループ学習するなど、密度の濃い授業が展開されています。生徒からの質問に応えるため、メンバーはわかりやすく伝えようと、さらに学ぶことのくりかえしだそうです。

です。ほかにも近隣の小学校への出前講師など、ますます活動の幅が広がっています。

郷土史に興味をもったきっかけをお聞きすると、「転勤で地方に行くと、みな郷土の歴史を大事にしている。私は家の近所で白山古墳のことを人に聞かれ、何も知らないことに気づき、がく然として調べ始めた」「長く住んで愛着がわいてきたら、自然に地域の歴史が知りたくなった」など。自分たちのまちへの愛着が活動の根幹にあるようです。



日吉中学校での授業風景

日吉分館市民自主学級



入会等問合せは 大橋さんへ
TEL/FAX 044-533-3449